―大　梵　鐘―

平成元年より遺骨収集活動を始めてから今日まで多数の遺骨を発掘収集してきた慧燈財団ですが、発掘されずに軍歌「海ゆかば」の一節のごとく草生す屍となって今もジャングルや湿地帯等のどこかで眠っておられる戦歿者の追悼供養を考えた時、大梵鐘の鐘の音にて追悼供養を行おうと思い至り、この大梵鐘を建立することになりました。

京都の岩沢梵鐘製作所が鋳造したこの大梵鐘は青銅製で高さ１．５メートル、重さ１．５トンあり、平成９年から寄付を呼び掛けて平成１３年に建立されたもので、チェンマイ県メーワン郡バーンガート中高校内にあるタイ・ビルマ方面戦病歿者追悼之碑が建立されている敷地内の鐘楼に安置されております。

梵鐘には、初代調理事長の自坊である佐賀県因通寺に戦後設置された戦争罹災孤児引揚養護施設「洗心寮」を昭和天皇がご訪問された際、陛下が戦争罹災孤児との対面に感動され賜りなされた御製「みほとけの　おしえまもりて　すくすくと　生い育つべく　子らに幸あれ」が刻まれております。
昭和天皇の御製をいただく梵鐘は世界に二つだけですが、一つはこのタイ・ビルマ方面戦病歿者追悼之碑敷地内に安置されたもので、もう一つは前述の因通寺に安置されております。
また、浄土真宗西本願寺派御門主の揮毫による「南無阿弥陀仏」の称号と、元遺族会会長橋本龍太郎元首相の揮毫による「安らかに」の言葉が刻まれているという点からもこの梵鐘がどれだけの価値があるものか推して量るべきでしょう。

タイ国財団法人　慧燈財団